

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301
TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

中国市場の炭素材料関連製品の動向

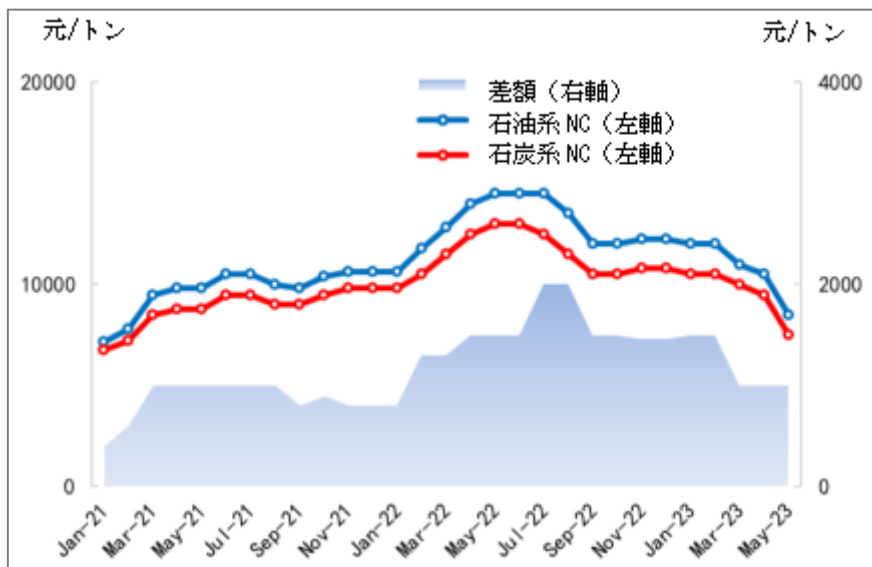
(2023年6月)

1. ニードルコークス

6月、中国ニードルコークス(以下、「NC」)の市場価格が下落した。下流企業の需要が弱まり、NC業界は低稼働率を維持した。石炭系NC企業の多くは月末に運転を停止した。6月30日のNC価格は下記の通りである。

● 中国国産NC価格(1元=19.43円で換算)

- 石炭系NCは7,500~9,000元/トン(14.57~17.49万円/トン)
- 石油系NCは6,900~10,000元/トン(13.41~19.43万円/トン)
- 石炭系、石油系生コークスは4,500~6,000元/トン(8.74~11.66万円/トン)



出典: ICC 資訊

図1 石油系NCと石炭系NCの価格推移(2021年1月~2023年5月)

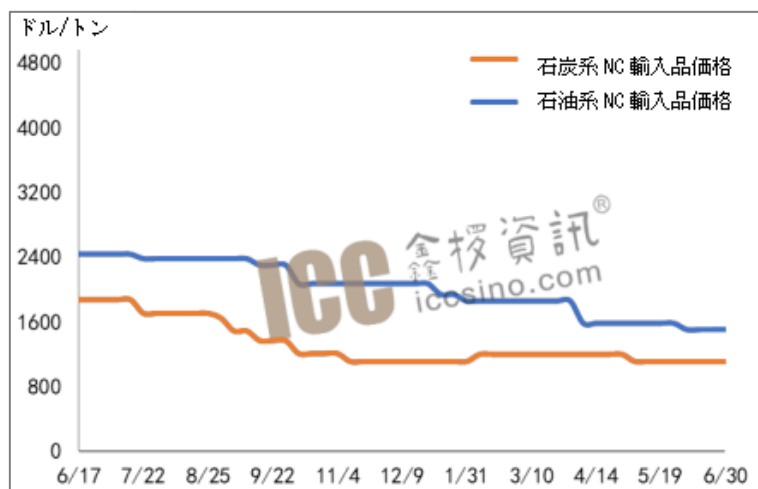
● 輸入NC価格(1ドル=139.49円で換算)

- 日本の石炭系NCは1,100ドル/トン(15.34万円/トン)
- 韓国の石炭系NCは1,000ドル/トン(13.95万円/トン)
- 英国の石油系NCは1,200~1,400ドル/トン(16.74~19.53万円/トン)
- 日本の石油系NCは1,500~1,900ドル/トン(20.92~26.50万円/トン)
- 負極用コークスは800~900ドル/トン(11.16~12.55万円/トン)

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683



出典：ICC 資訊

図2 NC 輸入品の価格推移（2022年6月~2023年6月）

原料側を見ると、石炭ピッチの価格は原料コールタールの価格変動を受け、一旦下降しその後上昇した。月末時点の中温ピッチ価格は4,550~4,600 元/トン（8.84~8.94 万円/トン）、改質ピッチは4,800~5,000 元/トン（9.33~9.72 万円/トン）であった。オイルスラリーは低価格で安定していた。低硫黄分オイルスラリーの価格は小幅に上昇し、月末には3,900~3,950 元/トン（7.58~7.67 万円/トン）であった。

2. 石油コークス

大慶石化会社が6月中旬に保守メンテナンスで一時生産を停止した。そのため、高品質低硫黄分石油コークスは供給量が減少し価格が上昇した。一般グレードの石油コークス価格は低下した。具体的には大慶石化1#Aの価格は300元値上げの4,700元/トン（9.13万円/トン）、撫順石化1#は100元上昇の4,400元/トン（8.55万円/トン）、大港石化1#Aは350元値下げの3,000元/トン（5.83万円/トン）、錦西石化1#Bは200元値下げの3,000元/トン（5.83万円/トン）、錦州石化1#Bは400元低下の2,750元/トン（5.34万円/トン）であった。

低硫黄分煅焼コークスは安定していた。錦西石化の生コークスを原料とした煅焼コークスは4,300~4,700元/トン（8.35~9.13万円/トン）、撫順石化の生コークスを原料とした煅焼コークスは6,800元/トン（13.21万円/トン）であった。

3. 黒鉛電極

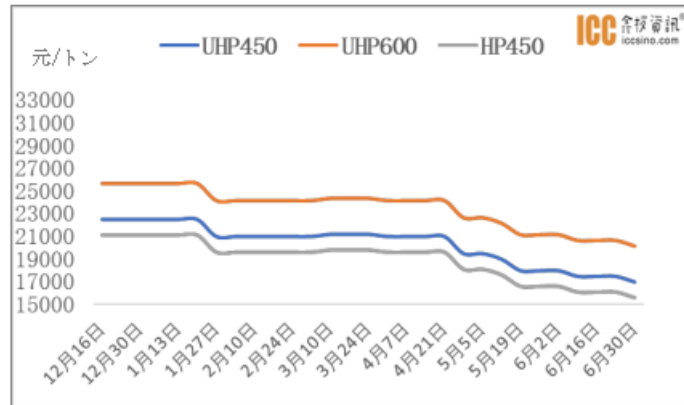
6月、中国黒鉛電極の価格は低下傾向にあった。電気炉製鋼法による製鉄所の大幅な生産停止、高炉製鋼法による製鉄所の黒鉛電極調達量の削減によって、需要側では黒鉛電極の需要が減少した。ICC 資訊の調査によると、全国135社の電気炉製鋼による製鉄所の稼働率は僅か34.52%で、鉄鋼の生産量は20.27万トン/日であった。従来から7月は鉄鋼生産の閑散期で黒鉛電極の需要はさらに弱まる可能性があるため、黒鉛電極市場は当面低迷が続く見通しである。黒鉛電極メーカーの中小企業の一部は生産を停止し、大手企業も生産を控えていたため低稼働率だった。

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

6月末現在、UHP400mm規格黒鉛電極の価格は17,000~18,000元/トン（33.03~34.97万円/トン）、UHP450mm規格（NC含有量が30%）は16,500~17,000元/トン（32.06~33.03万円/トン）、UHP600mm規格は20,000~21,000元/トン（38.86~40.80万円/トン）、UHP700mm規格は24,000~25,000元/トン（46.63~48.58万円/トン）だった。



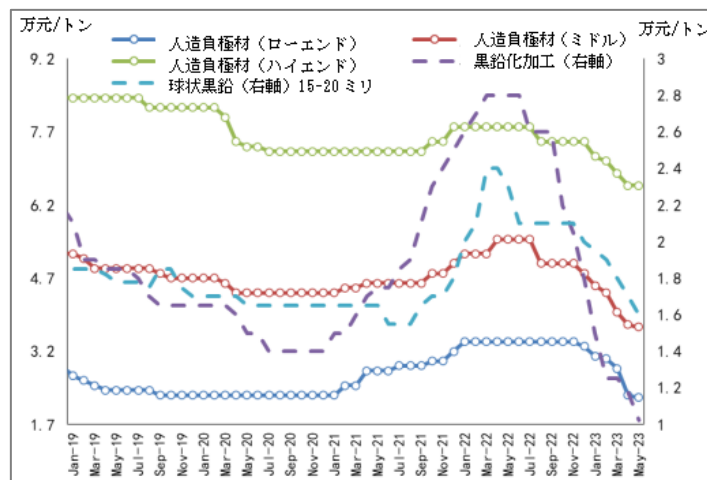
出典：ICC 資訊

図3 製品別黒鉛電極の価格推移（2022年12月~2023年6月）

4. 負極材

6月の負極材市場は安定していた。負極材メーカーは計画通りに生産し、稼働率は緩やかに上昇していた。7月は電池メーカーの需要増によって、需要側では負極材生産量が増加する見通しである。

負極材市場の好調を受け、黒鉛化加工市場も回復して低価格から小幅に上昇した。6月末現在の価格は主に0.95~1.15万円/トン（18.46~22.34万円/トン）で、今後は更なる値上がりが予想されている。



出典：ICC 資訊

図4 負極材と黒鉛化加工の価格推移（2019年1月~2023年5月）

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

炭素材料関連製品価格表 (2023年6月30日)

製品	指標	税込価格 (トン当たり)	
		人民元 (万元) ・ドル	日本円 (万円)
石油コークス	1#A	0.31~0.47	6.02~9.13
	1#B	0.27~0.30	5.25~5.83
煅焼コークス	低硫黄分	0.47	9.13
タールピッチ	含浸ピッチ	0.48~0.50	9.33~9.71
	被覆ピッチ	1.50~1.60	29.15~31.09
中国 NC	石炭系生コークス	0.58	11.27
	石炭系煅焼コークス	0.75	14.57
	石油系生コークス	0.52	10.10
	石油系煅焼コークス	0.78	15.16
海外 NC	石炭系 (日本)	1,100	15.34
	石炭系 (韓国)	1,000	13.95
	石油系 (日本)	1,500~1,900	20.92~26.50
	石油系 (英国)	1,300~1,500	18.13~20.92
黒鉛電極	UHP450mm	1.70~1.75	33.03~34.00
	UHP450mm	1.65~1.70	32.06~33.03
	UHP550mm	1.80~1.90	34.97~36.92
	UHP600mm	2.00~2.10	41.43~43.41
	UHP650mm	2.20~2.30	38.86~44.69
	UHP700mm	2.40~2.50	46.63~48.58
黒鉛化加工	/	0.95~1.10	18.46~21.37
天然負極材	ローエンド	2.10~3.10	40.80~60.23
	ミドルレンジ	3.90~4.50	75.78~87.44
	ハイエンド	5.20~6.70	101.04~130.18
人造負極材	ローエンド	1.70~2.50	33.03~48.58
	ミドルレンジ	2.80~4.10	54.40~79.66
	ハイエンド	5.00~8.00	97.15~155.44
球状黒鉛	大球 (15~20 μ m)	1.50~1.70	29.60~33.54
	小球 (6 μ m)	1.90~2.20	29.15~42.75

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

天然黒鉛	黒竜江	0.43~0.46	8.35~8.94
	山東省	0.45~0.49	8.74~9.52

注：1、中国国内価格は税込み出荷価格で、単位：万元/トン、1元=19.43円で換算。

2、海外 NC 価格は CIF 価格で、単位：ドル/トン、1ドル=139.49円で換算。

情報源：ICC 資訊より